



南京第一中学での歓迎会セレモニー



姉妹校の南京第一中学を訪問



南京虐殺記念館での「平和宣言」セレモニー



上海空港到着。空港には「熱烈歓迎」の横断幕が

高等学校

中国(上海-蘇州-南京)

姉妹校の 南京第一中学と交流

2002.11/11 mon
~ 16 sat

修学 旅行 レポート

本校では毎年、高2の修学旅行で北九州へ行っていました。今年度からいよいよ中国(上海・蘇州・南京)へ行くことになり、11月11日からA、Bの2班に分けて出発しました。4泊5日。
南京での姉妹校作りや交流会、交通事情や治安の問題、食事からトイレのことなど、5年ほど前から準備をして、やっと実現することができました。直前になってご父母の方からの不安、心配の声もお聞きし、高2の教師を中心にその一つひとつの意見を検討して

ていた上での実施でした。最初に見た上海の街の素晴らしさに、まず生徒たちは度肝を抜かれたようでした。「百聞は一見にしかず」で、あれほど事前学習をしていてもかかわらず、中国の発展はすごいものを感じたようでした。口々に「東洋のマンハッタン」と言われているのは本当だ。名古屋が本当に貧素に思える」と言っていました。
生徒たちが一番楽しかったのは何といても南京第一中学(日本という高校にあたる)の生徒たちとの交流と、生徒同士と一緒に南京の街を歩いたことだったようです。南京第一中学の体育館では電光掲示板に「熱烈歓迎 愛知淑徳高校 修学旅行団」という文字が映し出される大歓迎の下で、あっといふ間に英語や手振り身振りを使った、喧しいくらい交流が盛り上がり、すく手をうたいで夫子廟に行き、屋台で売っている食べ物をご馳走してもらって食べていました。
姉妹校提携をした南京第一中学の心遣いは本当に驚くほどでした。この日のために試験の日程を繰り上げるなどの無理をしていただきました。



南京第一中学の生徒とはすぐ友だちに

交流会の最後はA、B班それぞれ約400人の両校生徒たちの夕食会、ともに演し物を準備しゲームをして大いに盛り上がりました。別れの時には涙を流している生徒が何人も目にきました。
もちろん勉強もしてきました。南京虐殺記念館ではまたま同じ世代の中国の生徒たちの見学団と一緒にになりました。その時の生徒たちの緊張した顔、顔、これこそ現地に行くと初めて分かる、本物の戦争学習なのでしょう。
言葉の問題も生徒たちはいろいろ考えたようです。帰りの飛行機の中で、生徒たちは口々に「語学の大切さが本当に身に沁みて分かった。これからはうんと英語を勉強しよう」と言っていました。
二十有余年にわたる中国との付き合い。その歴史の中で、恥ずべき侵略戦争の時代もありました。しかし、生徒たちが一度でも言葉を交わした、あの「陳さん」「宋さん」のいる国(ある)を知っているならば、今後は決して「再び過ちを繰り返す」ということはないでしょう。
この修学旅行で、生徒たちは大きな勉強をしたのではないかと考えます。



南京第一中学との400人の大交流パーティー

中学校の修学旅行は今年度から目的地を沖縄にし、2泊3日の日程で行いました。1日目は南部戦跡、2・3日目は沖縄の歴史・伝統を、体験を通して学びました。生徒の評判もよく、特に琉球舞踊、エイサー、三線や菓子作り、さとうきび刈りなどの体験学習が好評でした。
南部戦跡を見たあとは、ひめゆりの塔の生存者、鳥袋淑子さんに講演をお願いしました。沖縄戦の悲惨さを体験した人の話であるだけに、生徒たちも大きく心を

中学校

沖縄

体験学習を通じて 沖縄の歴史・文化を学ぶ



平和記念公園

揺さぶられたようです。生徒たちがお礼にと用意した、さとうきび畑の合唱にも自然力が入り、鳥袋さんの目が潤んでいたように見えました。
宿泊場所は1泊目は日本式のホテル、全員で食事をとり、皆で大浴場に入りました。2泊目は浜辺に建つリゾートホテル。朝の出発時間が遅いこともあって朝食後、生徒たちは浜辺を散策し、珊瑚のかけらを拾うなどして、沖縄の美しい海を堪能しました。

2002.11/11 mon
~ 13 wed

恩納村商工会での体験学習(三線)

首里城公園

